

「子ども食堂」江戸川でスタート!

首都圏をはじめとして広がった「子ども食堂」は、温かい食事を通して地域で子どもの育ちを支援するというものです。市民レベルでの取り組みとして「子ども食堂」が各地で展開されるようになりました。江戸川ネットも、日頃から連携する地域団体や有志とともに、昨年準備を始め、いよいよ4月「子ども食堂」のオープンにこぎつけました。

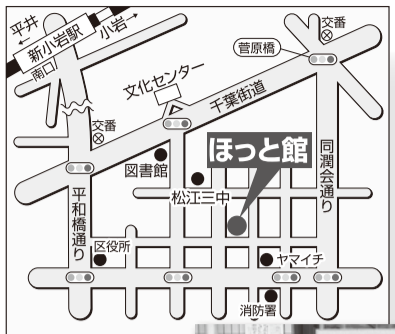
日本の子どもの貧困状態

「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行され、2年が過ぎました。厚生労働省が行った生活基礎調査によると、日本で貧困状態にある子どもは6人に1人いるという結果です。貧困ギャップという指標によれば、貧困状態にある子育て世帯の平均的な所得は、ひとり親で子どもが1人の場合10万円、夫婦と子どもが2人世帯で15万円。いかに深刻な状態で暮らしているかがわかります。

江戸川区の状況については、生活保護受給状況は、23区中2番目に多い15,158世帯、さらに母子世帯数は8,500という数値から見ても、貧困世帯が多いと予想できます。

「食」を通して子育てへの支援

「食」は、子どもの身体だけではなく心の成長にも大きな影響を与えます。保護者の帰りが遅く、コンビニ弁当や菓子パン、カップ麺で夕食を済ませている孤食の子どもたちがい



- **食堂名**
「えどがわ・あったか子ども食堂(仮称)」
- **実施場所**
高齢者の共同住宅 **ほっと館** 1階コミュニティレストラン「ほっとマンマ」(中央2-4-18)
- **実施日時** 第三日曜
1回目は、4月17日(日) 正午～午後2時
- **食事代**
子ども100円、大人300円
(お手伝いした子どもは無料)
- ボランティアでの協力、食材の提供、カンパなどをお願いします。

ます。学校給食が一日の唯一の食事だという子どもがいます。家族で食卓を囲むことすら知らずに育つ子どもたちがいます。

「ひとり食べるなら、ここで一緒に食べよう!」子どもたちにそんな呼びかけをし、招き入れ、一緒に食卓を囲む。このことは思いのある市民が地域とつながることで始めることができます。そして、孤立していた子どもたちがあきらめかけていた未来への橋渡しにもつながると考えます。

「えどがわ・あったか子ども食堂(仮称)」がめざすこと

地域には、さまざまな支援を必要とする子どもたちがいるはず。しかし、悩みや困りごとを抱える子どもは外からはわかりません。2月の実行委員会には、有志15人が集まり、江戸川の「子ども食堂」について話し合いました。

「子どもの貧困は社会問題だが、まずは、ここに来る子どもや親子を限定しない」「地域の誰もが利用できる」「居場所」としてまずは始めよう」「正式名称は、子どもたちと話し合って決めていくこととし、当面は「えどがわ・あったか子ども食堂」で、「参加者の相談や子どもたちの問題などを受け止め、行政機関や専門家、関係団体との連携をすすめる」ようこれらの意見が出されました。

(藤居 阿紀子)

●インフォメーション●

第3回 江戸川防災勉強会
元建設省土木研究所次長からの提言
「鬼怒川決壊に学ぶ～本当に安全な堤防とは」

- 日 時: 4月9日(土) 午後1時30分～3時45分
- 場 所: タワーホール船堀 2階「福寿」
- 資料代: 500円
- 申込み: 江戸川ネットまで TEL/03-5607-5975
Email/soreyuke@email.ne.jp

「越水しても決壊しない耐越水堤防へ」
石崎 勝義さん(元建設省土木研究所次長)
常総市議会水害検証特別委員会にて「行政の不作為」を指摘。すでに技術が確立している、堤防の人家側を遮水シートで覆う強化法について提言しました。鬼怒川決壊を受け、技術者としての責任を果たそうと活動されています。

「裁判から見えてきたスーパー堤防の真実」
嶋津 暉之さん(水源開発問題全国連絡会共同代表)
小島 延夫さん(弁護士)

トーク&電力会社づくりワークショップ
「どうなっちゃうの?私たちの電気」
電力自由化の舞台裏

大石英治さん(みんな電力(株)代表取締役)

- 日時: 5月29日(日) 14時～16時30分
- 場所: 勤労福祉会館・集会室1 ● 資料代: 500円
- 主催: 足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ(足温ネット)
- 申込み: E-mail info@sokuon-net.org
FAX 03-3654-9188

「男女共同参画社会基本法」が施行された1999年当時、性別による固定的役割分担を解消していくこと、学校においても、常に男子が先に並ぶ名簿を男女混合名簿に変えていく取り組みが進んでいました。しかし、江戸川区での男女混合名簿の実施校は、現在、小学校は73校中37校と半数になり、中学校では4年前から皆無です。

昨夏、生活者ネットワークのある都内30自治体を対象に行った調査でも、小中全校での実施は板橋、



伊藤 ひとみ
江戸川区議会議員

一人ひとりを大切に
男女混合名簿を

世田谷、文京、目黒、調布、町田、小金井、国分寺という結果でした。石原都政のもとで出された「誤ったジェンダーフリーに基づく男女混合名簿禁止」の通知が未だ尾を引いています。

予算特別委員会で、減少の一途をたどる男女混合名簿についての考えをたどったところ、区教育委員会は「男女混合名簿ありきは危険性をはらんでいる」と、理解に苦しむ答弁をしました。

子どもの頃から差別や人権について考え、男女平等社会への理解を深める手段として、学校に男女混合名簿が存在する意味は大きいと考えます。性的マイノリティ(LGBT)の子どもの配慮の観点からも後退させてはなりません。

認知症にやさしいまちづくり

徘徊中に列車にはねられた認知症の男性の遺族が、鉄道会社から損害賠償を求められた裁判が注目を集めました。介護サービスを利用しても、それだけで在宅の暮らしを支えることはできません。認知症の人とその家族が、安心して暮らしていくための地域づくりが急がれます。

都市化が進んだことによる隣近所も知らない地域事情に対して、また、無関心な人々への意識啓発をしていかなければなりません。

まずは認知症の理解をすすめる

「認知症サポーター」の養成を、すべての中学校で開催し飛躍的に増やしていくこと。そして認知症の人が行方不明になったという設定のもと、その方を探すための「認知症 SOS ネットワーク(徘徊) 模擬訓練」を、地域住民や認知症サポーターも参加し開催することも地域づくりにつながります。また、当事者が地域社会に参加する場であり、家族が情報交換できる場であり、認知症に対応できる人が常駐し、安心して過ごせる「認知症カフェ」をつくり出す取り組みも始めるべきです。

認知症の人やその家族にとってやさしいまちは、そこに暮らす、すべての人にとって暮らしやすいまちになると考えます。

生活者ネットワークは
東京の 38年の実績
地域政党です

最も身近な自治体議会に議員を送り、地域から生活の課題を解決していきます。現在35の自治体にそれぞれ生活者ネットワークがあり、区議18人、市議33人、都議3人を擁しています。食品安全、医療、水問題など、東京全体の課題には「東京生活者ネットワーク」として取り組んでいます。

江戸川・生活者ネットワークのルール

- ◆ **議員は交代制**
議員を職業とせず、参加の層を広げるため、2期8年で交代します。議員経験者はそのキャリアを地域の市民活動に活かします。東京全体で交代した議員が175人、江戸川では5人。現職を合わせる224人の女性議員を誕生させています。
- ◆ **議員報酬は市民の活動資金に**
生活者ネットワークの議席は市民のためのもの。議員は、報酬から経費を引いた額を生活者ネットに寄付し、市民の活動資金にしています。お金の流れはすべて公開しています。
- ◆ **選挙はカンパとボランティアで**
選挙では、候補者が費用負担することなく、カンパとボランティアで行なっています。